

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

Grow the new Story. 新しい物流で、新しい社会を、共に育む。お客さまおよび社会において、必要不可欠な存在（インフラ）であり続けること。

営業収益
2兆2,000億円

営業利益
1,400億円

親会社株主帰属純利益
980億円

ROE
15%

2 中長期の経営戦略

1. 国内サービス領域拡大

宅配便の競争力強化、低温物流コールドチェーン構築、国内ロジスティクス付加価値向上を実現。リアルコマース・越境EC・低温物流領域でグループシナジーを活用。

3. 経営資源の拡充

大型中継センター関東・関西・九州に新設。パートナー企業支援プログラム拡充。DXによる業務負減、継続的ベースアップ、グローバル物流・DX専門人材育成強化。

2. グローバル物流基盤拡大

EXPOLANKA HLDGSのフォワーディングビジネスを起点に、Morrison Express WW取得で電子部品・半導体業界向け航空フォワーディング強化。顧客基盤拡大と収益性向上。

4. 持続可能な経営

2050年カーボンニュートラル目標。グループ脱炭素ビジョンを2026年5月に見直し。SGH防災サポート財団設立で防災支援強化。ガバナンス高度化と企業価値向上。

3 対処すべき課題

① 労働力不足と継続的なコスト上昇

- ・賃金上昇・インフレ対応で業務効率化の加速が必要
- ・適正運賃収受を継続しながら競争環境対応
- ・パートナー企業への委託単価見直しと支援プログラム拡充

② 2024年問題と市場競争激化

- ・自動車運転業務の時間外労働上限規制への対応
- ・大手EC事業者による自社配送網拡大への対抗
- ・同業・異業種間の協業増加への対応

③ グローバル経営環境の不確実性

- ・地政学リスク拡大と紅海通航回避の長期化影響
- ・米国通商政策と中国経済減速への対応
- ・世界経済減速に伴う需要縮小への対応

面接で使えるポイント

- ・SGHビジョン2030で2031年3月期営業収益2兆2,000億円目標。長期的成長と社会への貢献を両立。
- ・2024年問題や労働力不足に適正運賃収受とDX導入で対応。業界構造変化を機会と捉えた戦略転換。
- ・Morrison Express Worldwide Corporationを2025年5月に取得。

証券コード 9143

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.64兆円営業利益率
5.5%財務健康度
51点 /100点

将来性 曇り / 就活偏差値 65.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
786万円

陸運業内 16位/57社

平均年齢
38.5歳

陸運業内 53位/57社

平均勤続
9.9年

陸運業内 53位/57社

女性管理職
40.2%

陸運業内 1位/46社

男性育休
100.0%

陸運業内 12位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 新たに、北海道札幌市に「札幌米里営業所」を開設 S Gホールデ

